

少傾向にあると聞いています。また、所沢の特産物を知らない方も多くいらっしゃるとのこと。そのような背景があるのでしょうか、所沢市は、所沢の特産物を使った“所沢グルメ王座決定戦”を企画し、その企画に私が作成した里芋を使ったレシピがエントリーされて、その会場での、ある母親との出逢いが、商品を企画するきっかけとなりました。

『わが子は、小麦粉アレルギーです。この里芋ピザは、小麦粉が使われていますか』『いいえ、小麦粉は使用されていません』

その母親のほほえみが忘れられず、『私は、このような子どもたちのために、さらに良い製品を開発しよう』と思い、試行錯誤が始まったのです。

当時は何をどうすればいいのか、誰に相談すればいいかさえ、見当が付きませんでした。

そのような時、1枚のチラシが目にとまりました。“所沢市ビジネスプランコンペ”の募集でした。このことを伺いに市役所を訪ねると、担当者の方が『是非応募してください』と丁寧に説明をしてくださいました。ビジネスに関

して無知な私は迷いましたが、アドバイザーの先生との面談がある企画でしたので、挑戦してみることにしたのです。

“ビジネスプランコンペ”の応募資料の作成には、アドバイザーである“中小機構 BusiNest”の先生のお力添えをたくさん頂きました。平成27年2月の“所沢市ビジネスプランコンペ”で優秀賞を頂き、所沢市の特産物を使った作品をビジネスにする第一歩を踏み出したのです。

商品化には、資金が必要です。また市役所を訪ね、支援機関があること、創業促進補助金等があることを伺い、挑戦してみることにしたのです。

ここからが苦難の連続でした。耳にするのは、今まで聞いたことのないような用語ばかりです。

このとき、ご支援や融資相談・専門家の派遣をして頂いた西武信用金庫の関係の皆様には、感謝でいっぱいです。

一人の小さな個人の発想や気づきがビジネスになるまでには、大きな山をたくさん越えなければなりません。一市民と市役所と中小機構、さらに支援金融機関という



里芋ピザ

4者の存在と連携プレイが、創業を支える大きな原動力となりました。

現在もそれぞれの支援を頂きながら、丁寧に相談に応じて頂ける場・人が存在することに感謝し、山あり谷ありのビジネスを展開しています。所沢の地場産支援に貢献できることが、支援を頂いている機関や皆さんへの恩返しであると思っています。

現在、所沢産里芋ピザ・所沢産野菜のフリーズドライの商品を製造販売しています。

そして創業を志す方に『一人で判断しないで、支援して下さるところに相談してくださいね』ということ伝えていきます』

支援の概要 合同会社 いろいろ

